

地域

おすすめ

Recommended by Outbrain

ベトナムの販売業者、ニシキゴイ養殖見学...新潟 (2017年02月18日)

アスкул倉庫火災、鎮火めど立たず...放水困難 (2017年02月17日)

運営会社が自己破産、富山の老舗旅館が営業停止 (2017年02月18日)

まんじゅうでランナー応援 (2017年02月17日)

[PR] 妻ともう一度恋人になる旅に出る。「冬の山梨」篇公開中 (THE ALPHARD'S Day Dream Trip by TOYOTA)

[PR] 実は親に原因があった...「勉強しない子」の共通点とは? (Smile Study! by ジャストシステム)

[トップ](#) [北海道発](#) [中部発](#) [北陸発](#) [関西発](#) [九州発](#)
[地域](#) [宮城](#) [ニュース](#)

歩行補助ロボ 活躍

2017年02月18日

[ツイート](#)
[おすすめ 11](#)
[G+1](#)
[5](#)

0



HAL医療用を使って歩行の練習をする小野寺さん(右)
(仙台西多賀病院で)

◆仙台の病院、神経難病に

国立病院機構・仙台西多賀病院(仙台市太白区)は、神経系の病気などが原因で歩行障害を抱える患者向けに、歩行を助ける装着型ロボット「HAL(ハル)医療用」を活用している。東北地方で初めて導入された昨年12月以降、これまでに患者3人の治療に使われており、歩行機能の改善が期待される。

HALは、ベンチャー企業「サイバーダイン」(茨城県つくば市)が開発したロボット。患者の皮膚の電気信号を装着したセンサーが感知してモーターが動き、歩行を補助する。これまでに、同機構・新潟病院(新潟県柏崎市)などで導入されている。

仙台西多賀病院で治療を受けた仙台市の小野寺淳さん(62)は、1月から週2回ほどのペースでHALを使って、歩く練習をしてきた。腰から足にかけてHALを装着し、歩行器につかまりながら、ゆっくりと一歩ずつ歩く。小野寺さんは「慣れない動きなので、初めはうまく動けませんでした。少しずつ慣れて、歩けるようになった」と笑顔を見せる。

小野寺さんは、約25年前に手足の筋肉が萎縮する難病「球脊髄性筋萎縮症」と診断され、4年ほど前から歩行が困難になり、車いす生活を送ってきた。病院によると、長期間車いす生活を送ると歩く感覚を忘れてしまうといい、HALを使って「正しい歩き方を思い出してもらおう」(武田篤院長)狙いがある。小野寺さんは「つえについてなら歩ける自信ができた」と期待を口にしました。

同病院は、神経難病の患者が多く、リハビリテーション科も備えている。武田院長は「HALの導入は、この病院の使命だと考えている」と強調する。これまでにHALで治療した患者では、使用前と比べて歩ける距離が長くなるなどの効果が確認されているという。

HALを使った治療は昨年4月から保険適用となり、筋ジストロフィーや筋萎縮性側索硬化症(ALS)など8疾患が対象となっている。同病院では、「より多くの患者さんに使ってもらい、歩く手助けをしていきたい」としている。